

渋谷敦志講演会「明日があるから」

日 時：2010年12月12日（日）

午後1時30分～3時30分

会 場：交流ラウンジ

近年、国際社会で問題が表面化している「児童労働」に関しては、社会全体のグローバル化に伴い、わたしたちの日常生活とも今や切り離すことのできない課題となっている。特にアジアにおいて深刻な状況にあり、売買の対象にされたり、性的に搾取されるなどの深刻な問題を抱えている。今回はフォトジャーナリストであり、児童労働や難民問題など、特に近年のアジア状況に詳しい渋谷敦志さんを講師として、女性や子どもの視点からこの問題を深める講演会を開催した。

講 師／

渋谷敦志（フォトジャーナリスト）

参加人数／22人（女性 15人、男性 7人）

参加費／500円



ご意見ご感想をいただきました

- ・自分達が何をするべきか、何ができるのかを非常に考えさせられました。日本の企業を始め、先進国の企業はもっと発展途上国での活動（非営利）ができないのか？NGOだけでは限界があると感じました。
- ・児童労働の問題についてお話を聞きたくて来ました。お話だけでなく写真を見ることでよりリアルに伝わってきました。ビルマ難民の話を聞くのは初めてで、日本も受け入れをしているとは知りませんでした。難民というと遠い国の話かと思っていましたが、もしかしたら身近な問題になるかもしれませんね。その時、自分に何ができるか・・・と考えてしまいます。
- ・ビルマの難民の状況をほとんど知らなかった。メディアが伝えるのは都市で行ったことばかりなので、このような少数民族の問題を発信していく重要性を感じて取材を続ける渋谷さんの活動は大切だと思う。今年9月、日本もビルマ難民を受け入れたとの事も知らなかったが、難民について日本人ももっと真剣に考えなければならないと思う。



プランなごや 21

目標4 国際社会における男女共同参画



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者
N P O 法人参画プラネット